

(端裏書)

〔寛政四年九月〕

覚

一 銀武貫四拾三匁也

右者當七月入津仕御藏入之節人不足ニ

相成候御米六拾俵代銀也、右當御役所江

御上納可仕候所銀子調達難相成候ニ付御國

御上納御願申上候所御聞済被成下難有奉存候

然ル上者御國船主大谷九右衛門方ヘ急度申

遣し置候間右九右衛門御召被下候ハヽ早速御上納

奉申上候、右御願書仍而如件

大谷九右衛門船

寛政四

沖船頭久左衛門(印)

子ノ九月

船宿

橋屋平治郎(印)

御役所